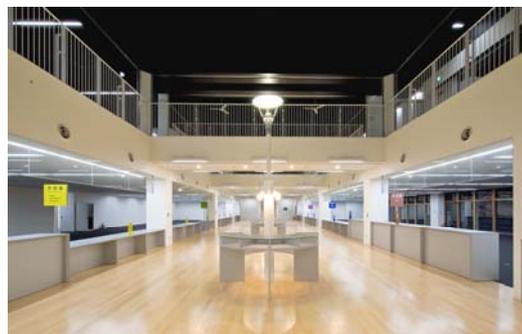


■ 山梨市庁舎【公共建築物等の部門】



選評

工場として使用されていた建物をリニューアル及び耐震改修して再生した市庁舎である。

昭和40年代に建設された工場棟を切断した2階建の東館は、鉄筋コンクリートの外壁や2階床の一部を撤去して窓や吹き抜けを設けることにより、明るく開放的な庁舎として生まれ変わっている。また、外付けフレームを新設して採光を損なわないように耐震補強し、外観も親しみのあるものとなっている。新耐震基準導入以降の平成元年に建設された事務所棟であった5階建の西館は、間仕切り壁の変更やOAフロアの設置、それに伴う設備の改修だけで庁舎として使用されている。

低コストで優良な建築物への再生を可能とした優れた建築技術と関係者の熱意が高く評価された。

所在地：山梨市  
 建築主：山梨市  
 設計者：㈱梓設計  
 施工者：㈱フジタ東京支店  
 テクノ菱和・富士商工・奥井商工JV  
 協和エクシオ・雨宮電気・土屋電気JV  
 構造・階数：RC造一部S造 地上5階  
 延べ面積：11,235.50㎡

■ 韮崎市立韮崎西中学校【公共建築物等の部門】



選評

施設の全面建替えにより整備されたこの中学校は、韮崎市街地の西、釜無川右岸沿いにある。

外壁を耐候性のあるレンガ積みとし、外断熱工法を採用することで、建物の長寿命化を図ると共に、省エネルギーで快適な居住環境を提供している。また、内装や家具に県産のヒノキを用い、大階段のある吹き抜けホールや談話コーナー、ラウンジなど、生徒や教師が交流出来る環境が数多く整えられ、更に、井水を冷熱源とした簡易冷房や夜間通気、太陽光発電の導入など、自然エネルギーを積極的に有効利用している。

地域の自然や周辺環境を熟知した堅実な設計で、デザイン、機能性、環境への配慮、コストバランスなどにおいて優れた建築物である。

所在地：韮崎市  
 建築主：韮崎市  
 設計者：㈱大宇根建築設計事務所  
 施工者：内藤ハウス・宝建設・深澤工業JV  
 明和工業・雨宮工業・矢崎水道工業JV  
 滝田電気商会・中村電気・横森電気工事JV  
 井口工業㈱ 関東電設㈱ ㈱日設管興  
 藤島建設㈱ ㈱村松電気商会 栄工業㈱  
 富士島建設㈱  
 構造・階数：RC造一部S造 地上3階  
 延べ面積：11,088.86㎡

■ 空・風光を生け捕るコートハウス【住宅建築の部門】



選評

甲府市の比較的閑静な住宅地に建つ、鉄筋コンクリート造2階建ての中庭を持つ住宅である。

南側に緩やかに下っていく地形を利用した建物の高さを抑えた造りは、中庭に奥行きを創りだし、囲われた空間であるにもかかわらず閉鎖性を感じさせない。コートハウスの長所、特性を十分に生かした設計で、中庭を中心に各部屋を配置し、中庭に向けて開口を大きくとることで自然を取り込み、自然を楽しむことができるように計画されている。

石や草木など自然素材の扱い方が上手く、シンボルツリーのオオモミジを始め、樹木や野草に彩られた中庭は魅力的で、四季の移ろいを感じることができる。

所在地：甲府市  
建築主：U氏  
設計者：一級建築士事務所ヴァーミリオン  
施工者：国際建設㈱  
構造・階数：RC造 地上2階  
延べ面積：239.09㎡

■ KEEP 国際交流研修センター清泉寮新館

【一般建築物等の部門・良好なまちなみ景観を形成している建築物等の部門】



選評

この建物は、自然豊かな八ヶ岳南麓の清里に建設された、大きなイベントの開催も可能な大会議室を併設した宿泊施設である。

内観は国産の丸太を利用した連続する小屋組が特徴で、外観は八ヶ岳の山並みを背景に、丸太の小屋組で構成されたダイナミックな屋根がデザインの特徴となっている。八ヶ岳山麓の自然環境や、開拓地の風景として定着した周辺の建物と調和し、過度な装飾はなく、自然素材の利用や空間の演出方法などに細やかな配慮がなされている。

地域に根づく建物を建設するに当たり、地元の人や関係者との度重なるワークショップを通して設計を行ったことは評価に値する。

所在地：北杜市  
建築主：(財) キープ協会  
設計者：㈱レーモンド設計事務所 大成建設㈱一級建築士事務所  
施工者：大成建設㈱  
構造・階数：RC造一部S造一部木造地上2階地下1階  
延べ面積：4,337.30㎡

■ 東京大学山中寮内藤セミナーハウス【一般建築物等の部門】



選評

昭和初期に建設された大学寮を除却し、大学や国の枠を超えた交流拠点を提供することを目的に建設されたセミナーハウスで、構造は鉄骨造一部木造の混構造である。

内部の共用スペースは、壁や天井が垂直、水平でない空間となっていて、多様な空間の変化が面白く、訪問者に驚きを与える。

複雑な構造計画である反面、プランのゾーニングは明快であり、外の景色や自然を取り込むための壁や天井の開口部が内部空間を造形的に演出している。外観は黒色の鋼板で覆われた不定形の装いで、全体的に遊び心の詰まった個性的な建物である。

所在地：山中湖村  
建築主：国立大学法人東京大学  
設計者：東京大学キャンパス計画室(岸田省吾教授)・同施設・資産系  
㈱馬場設計  
施工者：㈱新津組  
構造・階数：S造一部木造 地上2階  
延べ面積：1,723.73㎡

■ 上條集落観音堂【良好なまちなみ景観を形成している建築物等の部門】



選評

この観音堂は、地元出身の木喰百道の作である「一木百観音像」を安置するためのお堂として約200年前に建立されたものである。観音堂のある上條集落は、切妻突き上げ屋根を持つ甲州民家が数多く残っている集落で、集落の入口の高台に位置する観音堂は地域の景観を形成する要素として重要な役割を持っている。切妻民家集落の景観を守り伝える活動の拠点、及びシンボルとなる観音堂をこの度の保存修理工事によって、本来の姿に再生したことは意義深く、また、NPO法人と上條集落の住民が一緒になって工事に携わり観音堂を再生させたことは、住民参加の地域、まちづくりの観点からも高く評価できる。

---

所在地：甲州市  
建築主：上條組  
設計者：工学院大学教授 後藤 治  
施工者：榑石川工務所  
構造・階数：木造 地上1階  
延べ面積：53.50㎡

---

■ 身延山五重塔【良好なまちなみ景観を形成している建築物等の部門】



選評

身延山久遠寺の境内に、日本古来の伝統工法に現在の建築技術を加えて復元された純木造の五重塔である。この塔は、元和5年(1619年)に建立された初代の五重塔の復元であり、純国産の檜、杉、樺を使用し、3万6千を超える部材により組み立てられている。創建当時の仕様、工法に倣って建設された本格的な復元は見事で、現在の建築基準にも適合させている高度な技術力は高く評価できる。周辺の自然や建物に調和しており、身延山の景観のシンボルとして、参拝者、観光客の目を楽しませてくれるであろう。

---

所在地：身延町  
建築主：身延山久遠寺  
設計者：公益財団法人文化財建造物保存技術協会  
施工者：大成建設㈱  
構造・階数：木造 地上1階  
延べ面積：31.64㎡ (高さ39m)

---